

相模原市 遠藤 晴之さん

相模原市南区当麻地区で、酪農を営む遠藤晴之さん(49)。神奈川県立中央農業高等学校を卒業後、静岡県内の牧場で1年間実践研修を学び、家業を継いだ。就農して30年目となる。

妻の由佳さん(42)と共に日々、酪農業に励みながら相模原市農協酪農組合の組合長も務める。自宅敷地内に牛舎を構え、ホルスタインの育成



子牛と遠藤さん

牛と成牛合わせ約40頭を飼育。1日の搾乳量は700〜800ℓ。メグミルク海老名工場へ出荷している。

乳牛を飼育する上で心がけていることは「病気にさせないこと」。常に

地域に根付く酪農を

て牛舎の屋根から流し、暑さ対策を行うなど愛情を込めた成育に励む。

夫婦で早朝から夜遅くまで牛舎の掃除や餌やり、搾乳の他、水稲、畑作業を行う。ブランド米「はるみ」やブロッコリー、ハクサイなど少量多品目の季節野菜を年間60種類ほど栽培。いずれの圃場(ほじょう)でも牛ふん堆肥を活用し、循環型農業に取り組んでいる。

遠藤さんは「飼料価格高騰などで酪農家の軒数も年々減っている。経営が厳しい状況が続いているが、地域に密着した酪農を目指し長く続けていきたい」と話している。

(相模原)